

講演会

# 文学のなかの小金井

～ゆかりの作家が描いた風景～

小金井を描いた戦後以降の小説作品には、大岡昇平『武蔵野夫人』をはじめ、長野まゆみ『野川』や高村薫『我が少女A』さらに小金井市名誉市民である黒井千次の諸作品など名作や話題作が数多くあります。

それらの作品のなかの小金井の風景を歴史的経緯を含めて辿ることにより、小説を読む新たな楽しみを見つけると共に、小金井の魅力の再発見にも繋げていきます。

## 矢野 勝巳 氏

元 三鷹市山本有三記念館 館長

■ 令和4年1月15日(土)

開講 午後2時30分

(開場 午後2時)

入場無料

■ 小金井 宮地楽器ホール 小ホール

(小金井市民交流センター)

JR 武蔵小金井駅南口徒歩1分

主催 NPO 法人 小金井市文化協会

後援 小金井市・小金井市教育委員会

小金井市観光まちおこし協会

●事前申込：Eメールにて「講演会希望」として、氏名・連絡先電話番号を記入し

bunkakyokai@jcom.zaq.ne.jp (NPO 法人小金井市文化協会)へ申込み

12月15日(水)より受付開始 定員140名に達し次第受付を終了

●お問合せ：090-9391-3338 (福沢)

### 矢野勝巳氏プロフィール

1978年三鷹市役所入庁。長年生涯学習や文化事業に携わる。文学関連では、『没後50年太宰治展 心の王者』や太宰治文学サロン及び『三鷹市市制施行60周年記念展 三鷹ゆかりの文学者たち』等の企画・実施を担当する。三鷹市山本有三記念館館長及び三鷹市文芸担当課長を歴任。三鷹市役所退職後は、中央線沿線ゆかりの文学者や沿線を描いた作品の調査研究を行っている。著書に『歴史的環境の形成と地域づくり』共著(名著出版)、『日本近代文学館 館報』や『多摩のあゆみ』等への執筆。

#### ●新型コロナウイルス感染に伴いご来場のお客様にお知らせとお願い

・入場時の検温にご協力下さい ・マスクは必ず着用してご来場下さい ・混雑緩和のため、時間には余裕を持ってお出かけ下さい ・手指消毒、手洗い、咳エチケットの励行をお願い致します ・新型コロナ感染状況により、開催中止や入場者数が制限される場合があります